



石中だより

校訓 「 自主 練磨 協働 敬愛 」

花巻市立石鳥谷中学校
令和 8 年度 校報
第 6 号
令和 8 年 8 月 26 日

成長を実感できる2学期に！

～「いい顔」で日々生活する石中生に～

※ 2 学期始業式のあいさつより（全文）

今日から2学期が始まります。この夏休みには、大きな事故事件等もなく、今こうして、皆さんとともに始業式を迎えられたことを大変うれしく思います。27 日間の夏休みでしたが、自分の夢や目標にむかって、しっかりとチャレンジできたでしょうか。

進路実現に向け、体験入学や受験勉強に励んだ3年生をはじめ、部活動やクラブチームの活動、陸上練習等にとしっかりと取り組んだ生徒、東北大会や全国大会、各種大会等で奮闘した生徒、吹奏楽コンクール県大会でのレベルアップした演奏した生徒、総合文化部による戦没者追悼の千羽鶴作成と平和祈念式典への参加等、また一歩成長できた石中生の夏休みでした。

さて、2 学期のスタートにあたって、改めて皆さんに中学校で中学生として、身につけてほしいことについてお話をします。昨年度の入学式で全校生徒に向けて「幼い心を脱ぎ捨て、一人前の大人に社会人になるための力を中学校3年間で身につけてほしい」という話をしました。3年生は卒業まで残り半年、2年生は中学校生活半分終了、1年生は中学生として半年がたちますが、その力は身につけてきましたか。学校は皆さんが将来、働き、暮らしていく社会の縮図、将来生活していく日本社会を学ぶための小さな社会です。ですので、学校で出来ないことは社会にでもできません。だから学校生活で身につけるのです。学ぶのです。

そこで、2 学期、特に皆さんに意識して学校生活を送ってほしいこと、それは「中学生として社会人として、やるべきこと、当たり前前のことをしっかりやる」「時間・場所・状況に合わせた振る舞いができる生徒に、中学生になる」です。中学生ですから、この言葉の意味が理解できるはずです。

具体的には、時間を守る、ルールを守る、場に応じた服装や髪型・言葉遣い・声の大きさ等を自分で判断して対応できること、授業時間と休憩時間の区別ができ、その場面にふさわしい行動ができていくこと、清掃や係活動などやるべき時間にとしっかりとできること、これが学校生活における、場・状況に応じた振る舞い、行動です。

この社会人としての基本を身につけるのが中学校、中学生の3年間なのです。学校生活でこの振る舞いが出来ない人は社会に出てからも出来ません。改めて皆さんに、当たり前前のことをお話をしました。意識して生活する2学期にしていきたいと思います。

終わりに、先週まで行われていた全国高校野球選手権、甲子園大会開会式での選手宣誓の言葉がとても印象に残ったので皆さんに紹介して式辞とします。東京都代表、八王子実践高校主将の言葉です。

「いい顔して、野球をしよう」

「いい顔とは、戦いに身をとうじている時の、緊張した顔」

「勝負に敗れ、涙をぐっところえる顔」

「感謝の気持ちにあふれた満面の笑顔」

「いい顔で日々過ごすことは、周りの方々に元気や希望を与えます」

この選手宣誓の一節のように

「いい顔して、日々過ごす」「いい顔して、毎日過ごす石中生」の2学期に期待します。



【8 月 10 日 花巻市戦没者慰霊式典への参加と献納】

～中総体東北全国大会・県吹奏楽コンクール・花巻市戦没者平和祈念式・市中陸上練習等～

石中生夏休み中も活躍する！

猛暑や豪雨等の日本列島、岩手県も花巻市も例外ではなく、熱中症アラートが発令されるなど、今年も対応に注意をはらう日が多い夏休みでした。そんな中でも、石中生は東北や全国で、岩手県内で、花巻市で、地元や地域で・・・等、多くの場面で活躍・活動しました。

上位大会やコンクールを通して成長できた石中生、戦後 81 年の平和祈念式への協力と参加によって何かを感じることができた石中生、いつも支えてくださってる地域の皆さんへの感謝、恩返しになる地域行事へのボランティア参加で地域貢献した石中生。2 学期の学校生活や、新たなステージに向けてこの経験が生きるはずです。様々な経験を自信にして、生活していく石中生であることを願っています。



【市長・教育長へ全国東北大会出場表敬訪問】

【石中コラム】

2学期スタートの8月24日から、本校に新たな先生をお迎えしております。上山美咲(かみやまみさき)先生です。英語の先生で、主に2年生中心に授業に入りますが、部活動や行事も含めた学校生活全般で全校生徒の皆さんとかかわります。はやく石鳥谷中学校に慣れてもらうために、沢山話しかけ、石中の良いところを沢山教えてあげてください。

上山先生の自己紹介は、後日発行の PTA 広報にてお知らせしますので楽しみに……。

